

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成27年度 第2回伊達市社会教育委員会議		
議 題	平成27年度社会教育関係事業報告ほか		
開催日時	平成27年10月8日（木）18時25分から19時50分まで		
場 所	伊達市役所第2庁舎 2階会議室1		
出席者	社会教育委員6名、教育委員会職員8名：出席者計14名 ※欠席委員6名		
	所管部課名	教育部生涯学習課	
公開非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	—
<p>【会議概要】</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 教育長挨拶 会議開催趣旨である、予算編成前に社会教育委員から意見を聴取し、次年度事業計画に反映させる旨の説明を行う。</p> <p>5. 議 事</p> <p>（1）報告第1号 平成29年度開催「第59回全国社会教育研究大会北海道大会」の準備進捗状況について 伊達市社会教育委員が所属する胆振管内社会教育委員連絡協議会が担当する大会の任務について、第1希望を「表彰者等の受付」とし、実行委員会へ報告した旨説明した。</p> <p>（2）報告第2号 平成27年度事業計画（事業実績）報告 各担当職員より、今年度実施済み事業及び今後の事業予定について説明した。</p> <p>（3）意見交換</p> <p>〔A委員〕 図書館の本の管理状況について、特に絵本等の幼児向け書籍について充実を図ってほしい。</p>			

- 〔市教委〕 月に1度の館内整理日に痛みのひどい本は除いており、補修については週に2度ボランティアスタッフが行っている。図書の購入については、辞典等の基本図書が優先され、絵本の購入に充てる予算も限られているのでご理解いただきたい。
- 〔B委員〕 毎月カルチャーセンターで開催していた放課後CLUBは、昔遊びをお年寄りが講師になって教える等、大変良い事業だと思っていたが、現在は開催していないのは、毎月開催が難しいからなのか。
- 〔市教委〕 放課後CLUBは平日の夕刻開催で、会場もカルチャーセンターだったこともあり、参加者も伊達小校区と東小校区の一部の児童に偏っていたため、市内各所で開催する「遊び・学びの教室」にリニューアルし、年6回開催しておりますが、今後は回数を増やして行きたいと考えています。
- 〔B委員〕 百人一首大会も参加者が減少及び固定化しているようだが。
- 〔市教委〕 伊達正宗歌留多倶楽部が主催で市は共催ということで開催している百人一首については、一昔前までは自治会や子ども会で盛んに百人一首を行っていたが、今は衰退しているため家族参加が少なくなっている反面、学童保育のカリキュラムで百人一首を取り入れているところは、複数チームの参加がある。一定程度の成果を上げている事業であることから、広報紙、学校配付チラシの活用及び学童保育や児童館への働きかけを行い参加者を増やしたいと思う。
- 〔B委員〕 昔、レクリエーション協会が開催していた史跡巡りや歴史体験ツアーみたいなものを社会教育という観点から子ども達に体験させるのはどうか。
- 〔市教委〕 青少年関係事業の所管は青少年・体育係ですが、文化財係と連携し、次年度以降の事業に取り入れたいと思う。
- 〔C委員〕 洞爺湖町の知人から、伊達市の図書館に本の引き取りを頼んだら、倉庫が狭いと断られたと聞いたのだが。
- 〔市教委〕 確かに狭いということもあるが、伊達市民からの引き取りの申し出であっても、こちら（図書館職員）から出向いての引き取りは、原則として行っていない。また、古い辞書類については断っている。狭いということに関しては図書館の増改築が必要と考えているが、予算の都合上、いつとは言えない状況である。
- 〔B委員〕 今年度事業で「アイヌ文化まなび講座」とあるが、アイヌ由来の地名の学習とかはあるのか。
- 〔市教委〕 今回の講座では地名に関するカリキュラムはない。アイヌ研究者から市民向け講座についての相談が時折あるので、今後とも市民ニーズを考慮した事業に取り組んでいきたい。
- 〔D委員〕 市立図書館と学校図書館との連携について聞きたい。
- 〔市教委〕 恵庭市では、蔵書リストのデータ化による市立図書館と学校図書館との情報共有がされていると聞いている。伊達市の現状ではそこまでは無理だが、来月より新刊本の購入情報や図書館の行事予定を学校に配信する予定です。
- 〔E委員〕 子を持つ親としては、ダンスや英会話の事業に取り組んでは。
- 〔市教委〕 ダンスに関する事業については、市民プールのトレーニング室で就学前後の幼児向けキッズダンス教室を開催していますが、青少年事業としては考えていない。英会話に関する事業については、2名いるAET（英語指導助手：学校で英語の授業をサポートしている外国人助手）を活用した事業を考えている。学童保育での英会話教室という話もあるので、調整を図りたい。

- 〔E委員〕 障がい児（者）に特化した社会教育事業は行わないのか。
- 〔市教委〕 障がい者が参加主体の事業は社会福祉課の所管事業であり、教育委員会
はサポートする立場であるので、教育委員会が主催することはない。
- 〔議長〕 伊達市は「福祉のまち」をうたってますから、その辺を配慮した形での
事業を望みます。
- 〔F委員〕 老人向けで認知症予防や歩行機能の回復のための「ふまねっと」という
運動について、長生大学で取り組んではどうか。
- 〔市教委〕 長生大学の授業で取り組む場合、一度に200名程度を対象とすること
になる。今年度は無理だが、次年度以降に取り組めるか考えたい。
- 〔議長〕 各委員から出された本日の意見を、来年度の事業計画を策定するにあたり
いくらかでも反映されることを望みます。

4. その他（事務局からの報告）

- （1）市民研修センターについては、現在、施設の廃止についてのパブリックコメン
トを行っており、来年3月末で閉鎖する旨を説明。
- （2）大滝国際交流ゲストハウスについては、来年4月より所管を教育委員会から地
域振興課（大滝総合支所）に移し、用途を教育財産から公用財産に変更する旨を
説明。
- （3）次回の会議開催は来年2月とし、内容は平成28年度事業計画の報告とする。

5. 閉 会